clarion
Printed in Japan 2018/06
QY-7940A QY-7942A
取付説明書
274-0788-00

NX718
NX618

＜お客様へのお願い＞
本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
お買い上げの販売店、または専門業者での取り付けをおすすめします。

＜販売店様へのお願い＞
取り付け完了後、この「取付説明書」をお客様にお渡しください。

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
●取り付けおよび結線を行う前に、この取付説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく作業してください。
●本説明書は取扱説明書とともに大切に保管してください。

クラリオン株式会社
〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2
Clarion ホームページ
http://www.clarion.com
製品についての「よくあるご質問」は以下サイトで閲覧できます。
http://www.clarion.com/jp/ja/user-support/faq/

お問い合わせは、クラリオン「お客様相談室」へ
フリーダイヤル 0120-112-140
受付時間: 9:30〜12:00、13:00〜17:00
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）
保証書を以下内容をご確認頂くと、スムーズな応対ができます。
お買い上げ日、販売店名、製品型名

安全上のご注意　必ずお守りください

運転者や周囲の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、以下のように区分けして説明しています。これらは安全にご使用いただく上で重要です。以下の内容（表示・図記号）をよくご理解されてから本説明書をお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

■ 誤った使い方や取り付け方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分けし、説明しています。

⚠ 警 告	「死亡または重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注 意	「傷害を負うおそれや、物的損害の発生のおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容の種類を次の「図記号」で区分けし、説明しています。

（禁止）	してはいけない内容です。	（必ず行う）	必ず行っていただく内容です。
（注意）	注意しなければならない内容です。		

■ 作業をはじめる前に・取り付け場所についての注意事項

⚠警 告

（禁止）
● 本機を次のような場所に取り付けない・・・
- 前方の視界を妨げる場所
- ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所
- 同乗者に危険を及ぼす場所

運転操作を妨げたり、外れたりして、交通事故やけがの原因となります。
● エアバッグ装着車に取り付ける場合は、システムの作動に影響する位置には絶対取り付けない・・・
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。

（必ず行う）
● 取り付ける車のバッテリー電圧を確認する・・・
本機は DC12V 車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車では使用しないでください。
火災や故障などの原因となります。
● 本機の電源端子をバッテリーに直接接続する場合は、指定容量以上の電源コードを使用する・・・
指定容量に満たないコードを使用すると、電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となることがあります。
● ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する・・・
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

（注意）
● 配線作業中は、バッテリーのマイナス側ケーブルを外す・・・
ショート事故による感電やけがの原因となります。

⚠注 意

（禁止）
● 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、ほこりの多いところへは取り付けない・・・
本機に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。
● 振動の多いところなど、確実に固定できないところには取り付けない・・・
本機が外れて、事故やけがの原因となることがあります。
● 直射日光やヒーターの熱風などが直接当たるところや、本機の通風穴や放熱部をふさぐところには取り付けない・・・
本機に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

（注意）
● フィルムアンテナを取り付ける場合、指定の取り付け位置に貼り付ける・・・
視界を妨げる位置に貼り付けると、安全運転に支障をきたします。

■取り付け・結線上のご注意

⚠警 告

（禁止）
● 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしない・・・
電源コードの電流容量をオーバーし、火災や感電の原因となります。
● 車体のボルトやナットを使用してアースを取るときは、ステアリングやシートレール、ブレーキ系統などの重要保安部品のネジは使用しない・・・
事故や故障などの原因となります。
● エアバッグ装着車に接続コード類の配線をする場合は、システムの作動に影響する位置に配線しない・・・
エアバッグが正常に作動しないと、万一のとき、事故やけがの原因となります。

（必ず行う）
● 接続コード類の配線は高熱部を避けて行う・・・
コード類の被覆が溶けてショートし、事故や火災の原因となります。特にエンジンルーム内の配線には注意してください。

（注意）
● 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認のうえ、これらと干渉や接触することがないように注意する・・・
パイプ類などの破損により、火災や事故の原因となります。
● コード類は、運転操作の妨げとならないようにまとめておく・・・
ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

⚠注 意

（禁止）
● 車体の重要保安部品（ステアリング、シートレール、ブレーキ系統、ガソリンタンクなど）に取り付けられているボルトやナットは絶対に使用しない・・・
これらを使用すると制動不能や故障、発火の原因となることがあります。

（必ず行う）
● 必ず付属の部品を指定通りに使用する・・・
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定されずに外れたりして、事故や故障などの原因となることがあります。
● 車体に穴を開けてコード類を配線するときは、絶縁性グロメットを使用する・・・
開口部とコード類との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。
● 正規の接続をする・・・
誤った接続をすると、事故や火災の原因となることがあります。
● コード類の結線終了後は、コード類をクランプや絶縁テープで確実に固定する・・・
コード類が車体部分との接触により、すりきれてショートし、事故や火災の原因となることがあります。

（注意）
● 車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない・・・
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
● 車体のネジを使用して取り付けを行うときは、ネジがゆるまないように確実に締め付ける・・・
ネジがゆるみ、事故や故障などの原因となることがあります。

■ フィルムアンテナ取り付け上のご注意

⚠警 告

（必ず行う）
● フロントウインドウ以外には貼り付けないでください・・・
リアウインドウなど、ガラスにプリントされている熱線、AM、FM アンテナの上に本アンテナを貼り付けると熱線が切れたりガラスが割れるおそれがあります。

⚠注 意

（禁止）
● 取り付け後、24 時間以内は絶対に水気（水、雨、霧、雪など）にあてたり、無理な力を加えない・・・
両面テープの接着力が低下し、外れて事故やけがの原因となることがあります。

（必ず行う）
● 気温が低いときは、接着力の低下を防ぐため、車内ヒーターやデフロスタースイッチを ON にするなどしてフロントウインドウを暖める・・・
両面テープの接着力が低下し、外れて事故やけがの原因となることがあります。
● 貼り付ける前に、付属のクリーナーでフロントウインドウの汚れを十分に落とす・・・
アンテナがガラス面に貼り付かなくなります。

（注意）
● 天気の良い日中に取り付ける・・・
雨、霧など湿気が多いときは、両面テープの接着力が低下し、外れて事故やけがの原因となることがあります。
● ケーブルクランパーの両面テープは、指でさわったり貼り直したりすると、接着力が弱まるので、取り扱いには十分注意する・・・
両面テープの接着力が低下し、外れて事故やけがの原因となることがあります。
● アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
● お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかけないようにご注意ください。

■取り付けが終わったら

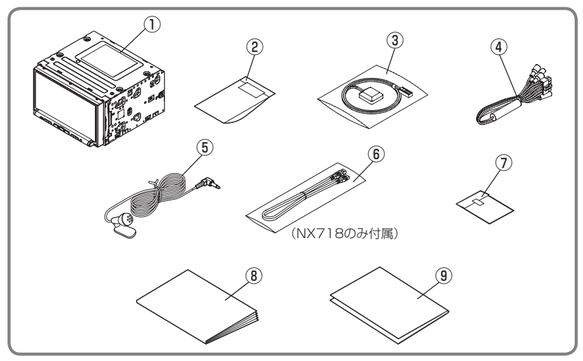
取り付け終了後、本機を動作させ、製品付属の取扱説明書にしたがって接続・動作の確認を行ってください。

■ 本機取り付け後の確認作業を行うには

本機を起動後表示される画面で 取り付け確認 をタッチしてください。
ナビゲーションの画面に切り替わります。
※ 3 分間操作しない場合も、ナビゲーションの画面に切り替わります。
※ 利用開始 は本機ご使用のお客様以外はタッチしないでください。

■製品構成

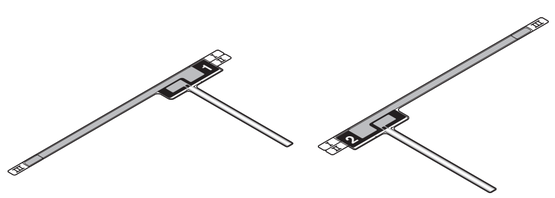
① 本体 1
② TV アンテナ（ZCP-140）..... 1 式
③ GPS アンテナ（2.5m）..... 1
④ 電源コード 1
⑤ ハンズフリー用マイク（3m）..... 1
⑥ 延長 USB ケーブル（NX718 のみ付属）..... 1
⑦ 付属品袋 1
⑧ 取扱説明書兼保証書 1
⑨ 取付説明書（本書）..... 1



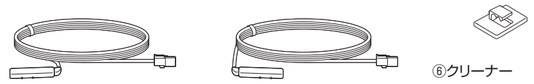
②TV アンテナ 内容一覧

1. フィルムアンテナ［1］..... 2
2. フィルムアンテナ［2］..... 2
3. アンテナケーブル［1］（4m）..... 2
4. アンテナケーブル［2］（4m）..... 2
5. ケーブルクランパー 8
6. クリーナー 1

①フィルムアンテナ[1]　②フィルムアンテナ[2]



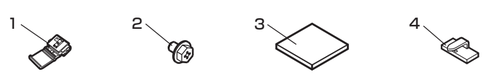
③アンテナケーブル[1](4m)　④アンテナケーブル[2](4m)　⑤ケーブルクランパー



⑥クリーナー

⑦ 付属品袋 内容一覧

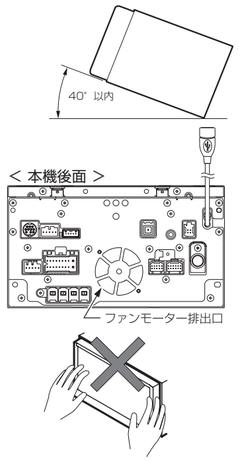
1. 配線コネクター 1
2. 取付ネジ（M5 × 8）..... 8
3. GPS アンテナ固定用両面テープ 1
4. コードホルダー 3



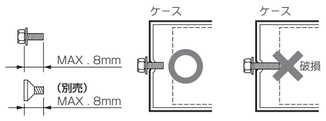
■取り付けかた

取り付け上のご注意

1. 本機は、水平面から 40° 以内に取り付けてください。
2. 車両への取り付けは、一部の車種を除き、車両の取付金具を使用して取り付けることができます。
3. 車種や年式により、専用の取付キットを使用しないと取り付けられない場合がありますので、販売店にご相談ください。
4. 本機には、本体内部の温度を上げないため、ファンモーターが付いています。ファンモーターの排出口をコードや取付ブラケット等でふさぐと、故障または火災の原因となりますので、配線等に注意して取り付けてください。
5. 本機のパネル部を開閉する際、一部の車種では車両のセンターパネルと接触することがあります。その場合はセンターパネルを接触しないように加工して取り付けてください。
6. 取り付ける際、故障の原因となりますので本機のパネル面を強く押し付けないようにしてください。



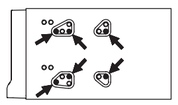
ご注意
- 取付ブラケットのネジ穴形状に合わせて、必ず指定の取り付けネジをご使用ください。
- 車種や年式により、専用の取り付けキットや市販のネジ（M5×8mm サラネジ）が必要となる場合があります。
販売店にご相談ください。
指定以外のネジを使用すると、事故や故障の原因となります。



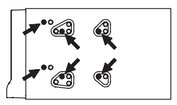
取り付け穴について

本機には、日産車用、トヨタ車用、当社車種別キット用の取り付け穴が設けられています。
車種によって多少異なりますが、●印穴のいずれかを使用して取り付けます。

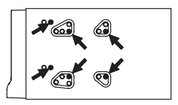
日産車の場合
下図●部のうち 3 〜 4 カ所を使用して取り付けます。



トヨタ／ダイハツ車（パネル幅 200mm サイズ）の場合
下図●部のうち 4 カ所を使用して取り付けます。

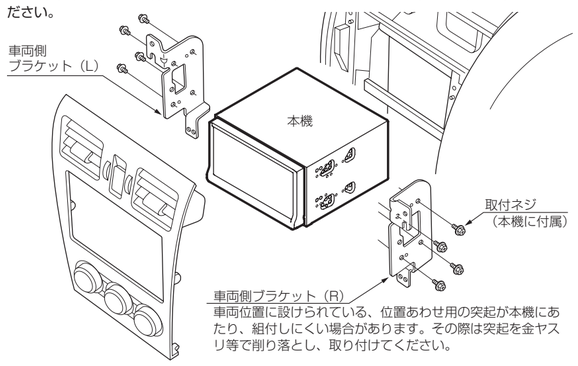


トヨタ／ダイハツ（左記タイプ以外）・スズキ・スバル車の場合
下図●部のうち 4 カ所を使用して取り付けます。



取り付け例

車種別専用取付キット（別売）をご使用の場合、詳しくはキットに同梱の取扱説明書をご覧ください。



GPS アンテナの取り付け

ご注意
1. 付属の GPS アンテナは、車内専用です。車外への取り付けはできません。
2. **GPS アンテナは、ナビゲーション本体や CD プレーヤーなどのカーオーディオ機器またはレーダー探知器から 50cm 以上離して取り付けてください。これらの機器の近くに設置すると、電波を受信しにくくなる場合があります。**
3. **一部の運転支援システム（自動ブレーキ装置等）装着車の場合、運転支援ユニットおよびハーネスと GPS アンテナやアンテナコードを近づけると、受信感度が低下することがあります。**
4. GPS アンテナは電波を受信しやすくするために、平らな面に水平に取り付けてください。
5. GPS アンテナのカバーにワックスをかけたり塗装をしないでください。アンテナの性能が落ちます。

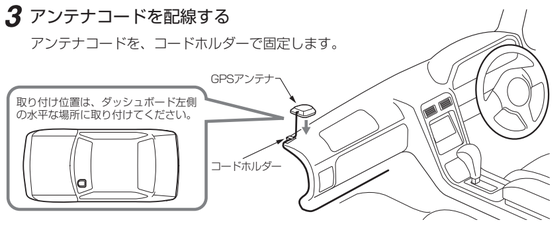
お願い
取り付け面の汚れをきれいに拭き取ってから取り付けてください。

■ ダッシュボードに取り付ける場合

1 GPS アンテナに両面テープを貼り付ける
GPS アンテナの裏 に、両面テープを貼り付けます。

2 アンテナを取り付ける
GPS アンテナをダッシュボードの電波のさえぎられにくい平らな場所に貼り付けます。

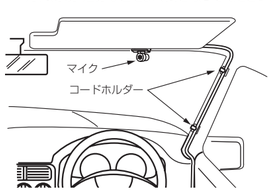
3 アンテナコードを配線する
アンテナコードを、コードホルダーで固定します。

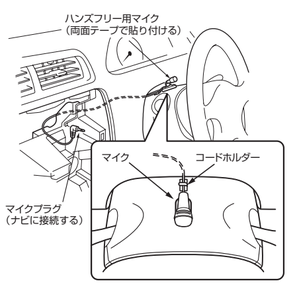


⚠警 告
●エアバッグシステムの作動に影響する位置、視界をさえぎる位置には取り付けないでください。事故の原因となります。

ハンズフリー用マイクの取り付け

■ 取り付け場所について
ステアリングコラムカバーやサンバイザーに、ハンズフリー用マイクを、運転者の口元に向けて、同梱の台座かクリップで取り付けてください。
※台座を使用して取り付ける場合は、貼付面の汚れ、水分・油分などをよく拭き取ってください。





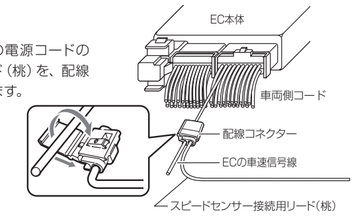
スピードセンサーの接続

ご注意
- 車速信号線との接続は、間違えないように、慎重に行ってください。作業は販売店に依頼してください。
- 配線コネクター（U エレメントコネクター）を使用する場合、車両側電線の太さを十分確認のうえ接続してください。適合電線以外で使用すると接続不良や断線のおそれがあります。

1 準備する
販売店で、お客様の車の EC の位置と車速信号の接続位置を確認してください。
作業は販売店に依頼してください。

2 エンジンコントロールコンピューター（EC）との接続位置を確認する
車の部品を外して、EC の車速信号線を確認してください。

3 接続する
車側の車速信号線と、本機の電源コードのスピードセンサー接続用リード（桃）を、配線コネクターを使用して接続します。



取り付けた後に行ってください

■ ジャイロの感度調整について
インダッシュなどに本機が傾斜して取り付けられた場合、取付角度によって地図に表示される自車方向にズレが目立つことがあります。（特に交差点などを曲がった際）
本機の車両への取付角度をご確認のうえ、以下の手順でジャイロ感度を設定し、自車方向を調整してください。詳しくは、
http://www.clarion.com/jp/ja/user-support/fitting/guide/index.html
をご覧ください。

1. メニューボタン ▶ 情報 / 設定 ▶ 設定 ▶ その他設定 をタッチする
2. 販売店 ▶ はい ▶ ジャイロ感度設定 をタッチする
3. レベルを選択する

レベル	取付角度（°）
レベル 0	水平（0）
レベル 1	4
レベル 2	8
レベル 3	20
レベル 4	32
レベル 5	36
レベル 6	40
レベル -1	曲がりすぎる場合に使用します

工場出荷時の初期設定は「レベル 3」です。

■ 自車位置のずれを修正する
はじめてナビゲーションをお使いになるときは、自車位置のずれを修正するために、GPS が受信できる以下のような道で、約 5 分間、法定内の速度で定速走行を行ってください。
・上空に障害物がない道
・周辺に高いビルがない道

■ 各接続状況を確認する
ナビゲーション本体の「接続チェック」画面より、接続状況を確認してください。
1. メニューボタン ▶ 情報 / 設定 をタッチする
2. ナビ設定 ▶ その他の設定 ▶ 接続チェック をタッチする

スピードセンサーは、走行することでパルス信号の状態を確認することができます。
（停止中は、表示しません。）

TV 用フィルムアンテナの取り付け

用意するもの

取り付け作業の前に、以下のものを用意してください。
- 樹脂ヘラ
- ハサミ
- マスキングテープ
- やわらかい布など

取り付けのご注意

●車種によって、取り付けられない場合があります。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。最寄りのカーディーラーにお問い合わせください。

●車種によっては、フロントピラーやサンバイザーを取り外すと作業が容易に行える場合があります。なお、フロントピラーの取り外しならびに復元は、必ずカーディーラーまたは専門技術のある方に依頼してください。

●フロントウインドウの指定位置・寸法内に貼り付けてください。
- 本商品は**フロントウインドウ専用**です。それ以外の場所（リアウインドウなど）には貼り付けないでください。
- 保安基準*に適合させるために、本書の「貼り付け位置について」および「貼付許容範囲」をよくご覧になり、正しく貼り付けてください。貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

*保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条細目告示第39条および別添37をいいます。

●以下の場合は、地上デジタルTVの受信感度が低下することがあります。
- 一部の運転支援システム（自動ブレーキ装置等）装着車の場合
- 他の電装品（ドライブレコーダーなど）を装着している場合

貼り付ける前に

本紙は左側（フロントピラー・フルセグ）の取り付け方を説明しています。
右側は対称の作業になります。

1 ***フロントウインドウの汚れを落とす***

1 フロントウインドウ（内側）のフィルムアンテナを貼り付ける場所を、付属のクリーナーで拭いて十分に汚れを落として乾かしてください。
- 貼付面が完全に乾いていない状態では貼り付かないおそれがあります。フィルムアンテナを貼り付けるガラス面は十分に乾いた状態にしてから作業を行ってください。
- フィルムアンテナを貼り付ける面が油分等で汚れていると貼り付きません。また、冬場など気温の低いときは、デフロスター・ドライヤー等でガラス面を暖めてから作業を開始してください。またフィルムアンテナ自体も暖めてください。

貼り付け位置について

●運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために、必ず、本書裏面の貼り付け手順 2 の「貼付許容範囲」の位置に貼り付けてください。許容範囲外に貼り付けると道路運送車両の保安基準に適合せず、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。
●左ハンドル車に貼り付ける場合も、右ハンドル車と同様に貼り付けてください。
（左右逆に貼り付けないでください。）
●フィルムアンテナは、フロントウインドウの車内側に貼り付けてください。それ以外の場所には貼り付けないでください。
●フィルムアンテナは、車検証・点検シールなどと重ならないように貼り付けてください。
●フィルムアンテナは、ETC 受光部、他機器のアンテナなどから 20mm 以上離して貼り付けてください。

貼り付け手順

2 フィルムアンテナ・アンテナケーブル給電部の貼付位置を決める

1 フィルムアンテナ・アンテナケーブル給電部の貼付位置は、下図の「貼付許容範囲」を参照して位置を決めてください。

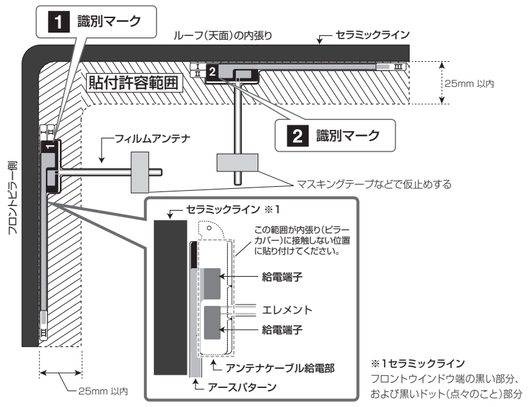
2 マスキングテープなどでフィルムアンテナおよびアンテナケーブル給電部を仮固定し、車内の内張り（フロントピラーなど）に当たらないことを確認してください。

3 ケーブルを引き回して機器まで配線可能なことを確認してください。

■貼付許容範囲

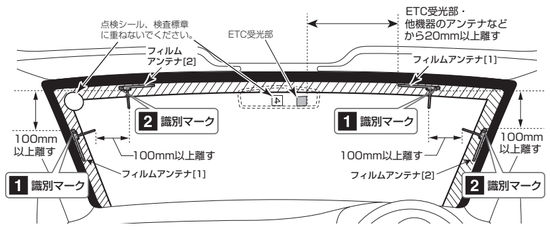
- フィルムアンテナの給電端子部およびアンテナケーブル給電部は、セラミックライン上または、内張りに重ならないように必ず貼付許容範囲内（▨部）に貼り付けてください。
- アースパターンは、セラミックライン上に貼り付けても問題ありません。
- 貼付許容範囲をはみ出して貼り付けた場合、車検不適合と判断されたり、整備不良の対象となります。

ご注意
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。



<車室内側からフロントウインドウを見た図>

ご注意
- フィルムアンテナは、2種類あります。（1の識別マーク、2の識別マーク）貼付位置を確認のうえ、間違えないよう貼り付け作業を行ってください。



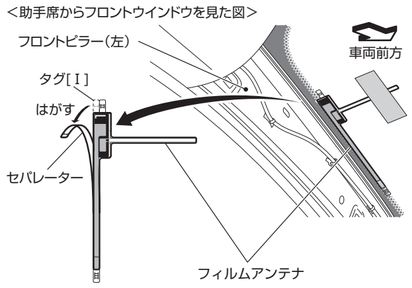
3 フィルムアンテナを貼り付ける

本紙は左側（フロントピラー）の取り付け方を説明しています。右側は対称の作業になります。

ご注意
- アンテナの接着面に手で触れないでください。また万が一触れた場合に備え、手や指の汚れを落として作業をしてください。
- 空気が入ったり、シワが寄らないように注意してゆっくり端から貼り付けてください。
- 貼り直しができませんので、十分注意して位置決めをしてください。

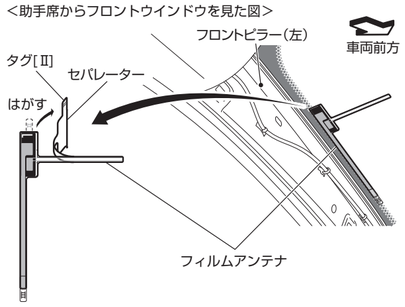
1 ［Ⅰ］のタグを持ち、ゆっくりとセパレーターをはがし、指定の貼付位置がずれないように貼り付けてください。

<助手席からフロントウインドウを見た図>



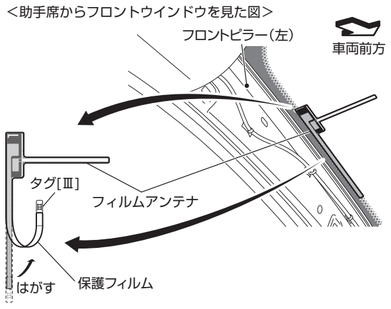
2 ［Ⅱ］のタグを持ち、ゆっくりとセパレーターをはがし、指定の貼付位置がずれないように貼り付けてください。
- フィルムアンテナをやわらかい布等で、こすらずに上から丁寧に押さえ、フロントウインドウに定着させてください。

<助手席からフロントウインドウを見た図>



3 ［Ⅲ］のタグを持ち、ウインドウ側にアンテナ線が残っていることを確認しながら、ゆっくりと保護フィルムをはがしてください。

<助手席からフロントウインドウを見た図>



ご注意
- アンテナ線が一緒にはがれてしまう場合は、保護フィルムをいったん戻し、やわらかい布等でこすらずに上から丁寧に押さえ、フロントウインドウに定着させてから再度はがしてください。

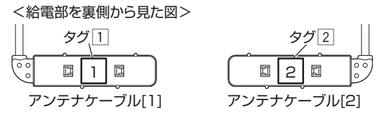
4 アンテナケーブル給電部を貼り付ける

1 アンテナケーブル給電部のはく紙をはがしてください。

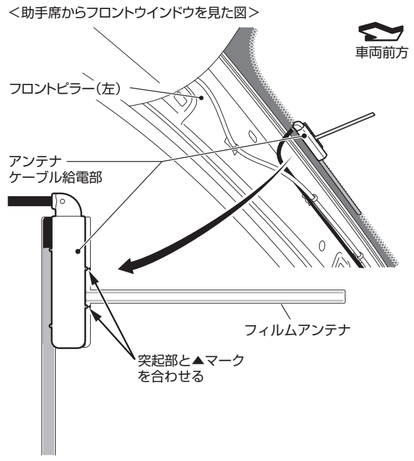
2 フィルムアンテナの▲マークとアンテナケーブル給電部の突起を合わせ、フィルムアンテナの給電端子部に貼り付けてください。

ご注意
- 給電部の裏側には、1、2 のタグが付いています。フィルムアンテナ［1］には、1 のタグが付いているアンテナケーブルを貼り付けてください。1 、2 を逆に貼り付けると、受信性能が低下する場合があります。
- 給電端子の方向を間違えないように貼り付けてください。

<給電部を裏側から見た図>

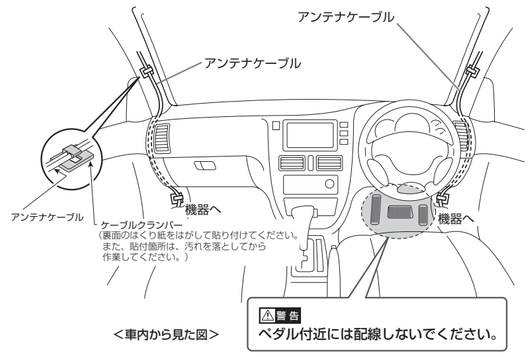


<助手席からフロントウインドウを見た図>



5 アンテナケーブルを固定する

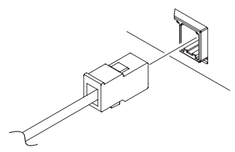
1 ケーブルクランパーで固定しながらケーブルの配線を行ってください。
- アンテナケーブル給電部に負荷がかからないように、アンテナケーブル給電部を押さえながら作業を行ってください。



⚠警告
- フロントピラーにエアバッグが装着された車両には、エアバッグ動作の妨げとならない位置へ配線を行ってください。
- 運転の視野を妨げないように、ケーブルを配線してください。
- ケーブル類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。その際ケーブルは、曲げ部がΦ14mm（曲げR7mm）以上となるようにまとめてください。
- アンテナケーブルをピラー内などに押し込む場合は、樹脂ヘラなどを使用してください。（先端部分が鋭利な工具などを用いて強い力で無理に押し込むとアンテナケーブルが破損（断線）する可能性があります。）

6 アンテナ端子を接続する

1 アンテナ端子を機器のTVアンテナ端子へ接続してください。
- 「結線のしかた」をご覧いただき、正しい位置に接続してください。TVアンテナ入力端子はロック付きです。端子を機器から外す際は、ロック部を押しながら外してください。



ご注意
- アンテナ貼り付け直後は、アンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナを直接拭いたりしないでください。また、時間経過後にアンテナを直接拭く際は、やわらかい布などを使用して傷が付かないよう注意してください。
- アンテナ貼り付け後、24時間は自然放置し、無理な力は加えないようにしてください。
- お手入れの際は、アンテナケーブル、フィルムアンテナをひっかけないようにご注意ください。

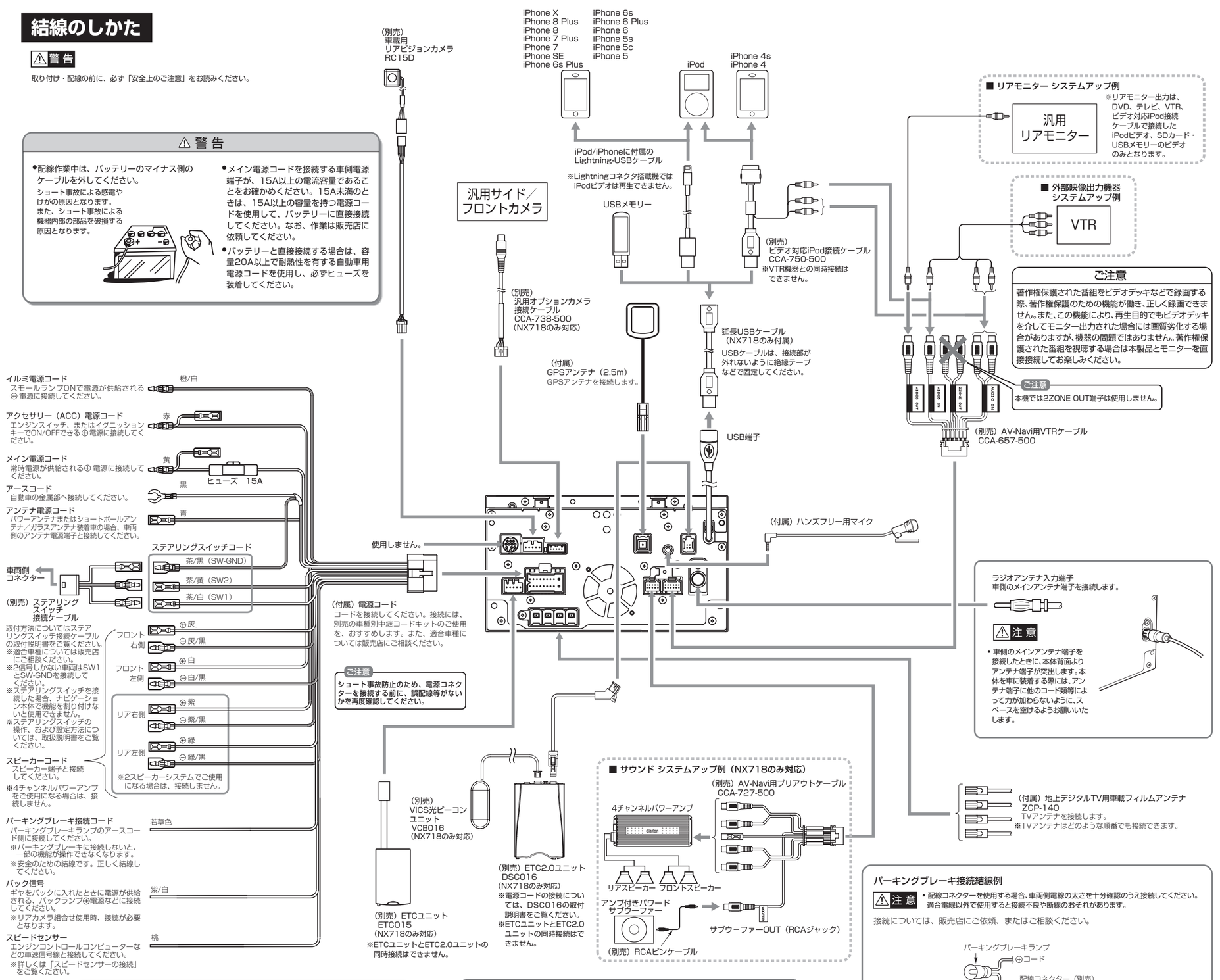
結線のしかた

⚠警告

取り付け・配線の前に、必ず「安全上のご注意」をお読みください。

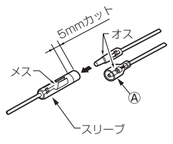
⚠警告
- 配線作業中は、バッテリーのマイナス側のケーブルを外してください。
  ショート事故による感電やけがの原因となります。
  また、ショート事故による機器内部の部品を破損する原因となります。

- メイン電源コードを接続する車側電源端子が、15A以上の電流容量であることをお確かめください。15A未満のときは、15A以上の容量を持つ電源コードを使用して、バッテリーに直接接続してください。なお、作業は販売店に依頼してください。
- バッテリーと直接接続する場合は、容量20A以上で耐熱性を有する自動車用電源コードを使用し、必ずヒューズを装着してください。



電源およびスピーカー端子

端子の接続は、オスとメスがロックするまで差し込んでください。オス端子が右図Ⓐタイプの場合は、メス端子のスリーブを約5mmカットしてください。

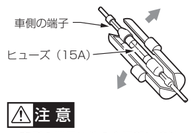


⚠注意
- アンテナ電源コードは専用端子ですので、他の機器や手動または半手動のアンテナ装着車には接続しないでください。
- 接続しない端子は、金属部に触れないように、端子を絶縁テープなどで覆ってください。

ヒューズ

ヒューズが切れたときは、ショート事故防止のため次の手順で、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。

1.本機のメイン電源コード（黄色）と接続している車側の電源コードを抜きます。
2.結線が正しいか確認してください。
3.確認後、入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。



⚠注意
- 車側の端子は他の金属部に接触させないようにしてください。